

医学部 6 年生を対象とした教育要求分析

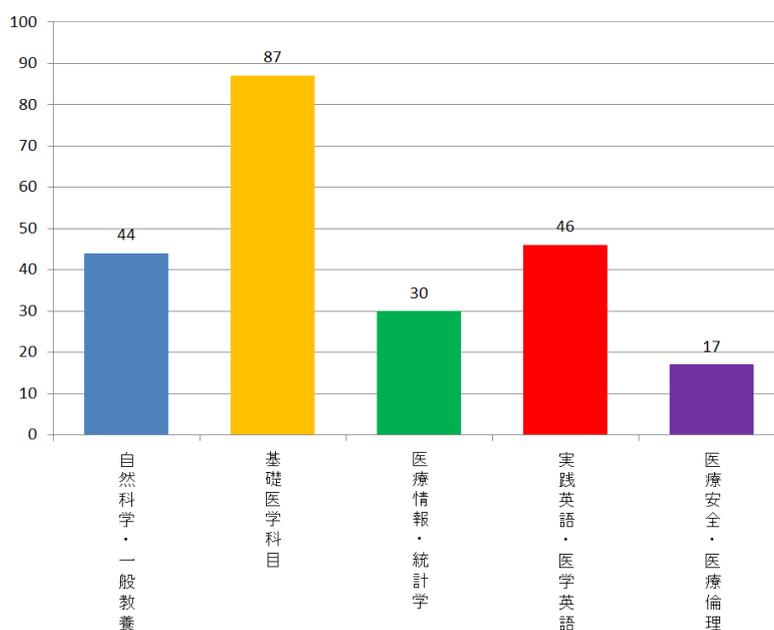
調査対象とした本学医学部 6 年生 131 名のうち、126 名より回答を得た。ただし調査当日のネットワーク通信の不具合により、アンケートへの回答送信に対する応答に時間がかかり、画面を更新して再送信した学生が複数あったため、154 件分の記録を有効回答として集計した。

(実施日：令和 2 年 10 月 23 日)

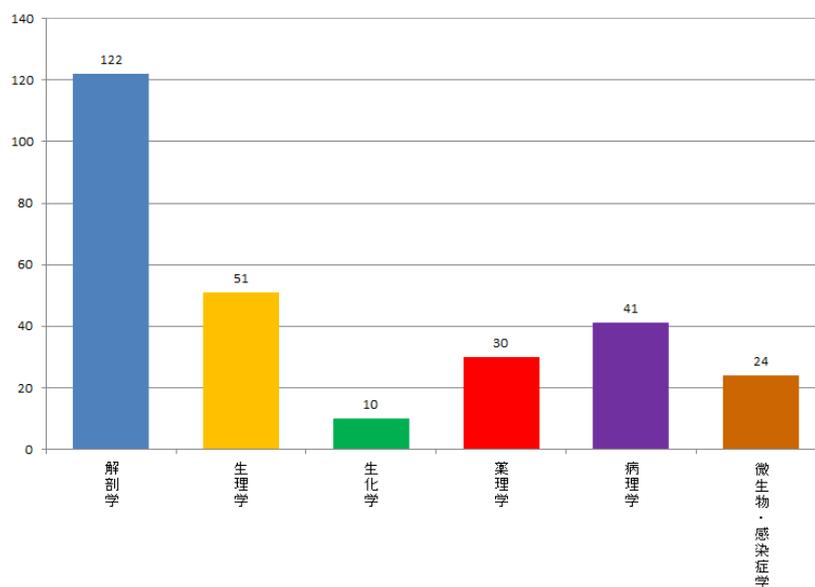
学部教育における不足事項

・「在学中にもっと学んでおけばよかった」と思う項目を 2 つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。

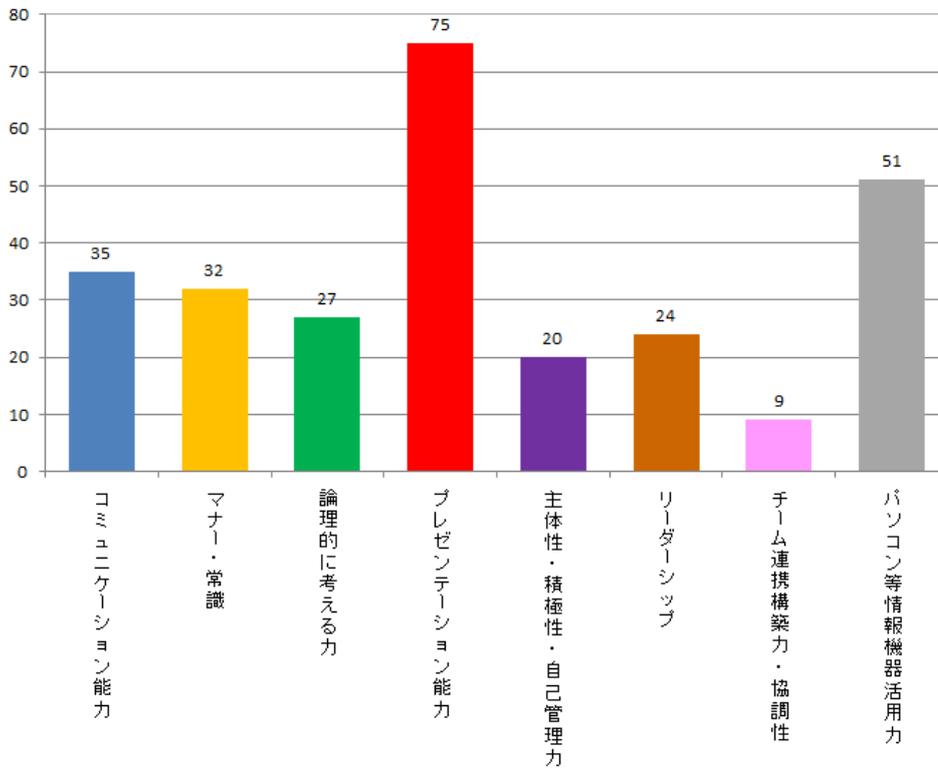
昨年度実施した調査と比較して、実践英語・医学英語の項目を選択する学生の割合が減少した点が特徴的であるといえる。



・「臨床実習を終えた現在から振り返って、もっと学んでおけばよかったと思う科目」を 2 つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。例年通り多数の学生が解剖学を選択する結果となっている。病理学の選択者数が増加した。



・「これまでの学部教育や活動を通してもっと身につけておきたかった」と思う項目 2 つまでの複数回答で問う設問に対する回答結果は下図の通りとなった。昨年度同様、プレゼンテーション能力や情報機器活用力の回答数が多い結果となっている。コミュニケーション能力やリーダーシップを選択する学生の割合が増えた点も特徴的である。



学部教育に対する評価

・杏林大学における医学教育に関する 5 段階評価の結果は下図の通りであった。

昨年度の調査結果と比較して、設備以外の項目において高評価を選択する割合がかなり増えた結果となった。

